

(2) 国際経済コースの履修系統図

科目区分別の学修目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester
演習関連	基礎演習A	基礎演習B	演習IA	演習IB	演習IIA	演習IIB	演習III A (必修)	演習III B (必修) 卒業論文
学部基礎科目	経済学基礎 (必修) 情報リテラシー I	現代経済事情 情報リテラシー II						
学部共通科目	<p>14単位以上選択必修：第1から第4セメスターのあいだに履修することが望ましい</p> <p>1年次から：経済史 I → 経済史 II</p> <p>1年次から： ミクロ経済学 I → ミクロ経済学 II マクロ経済学 I → マクロ経済学 II 経済統計学 I → 経済統計学 II 経済数学 I → 経済数学 II</p> <p>2年次から： ミクロ経済学 II → ミクロ経済学 III マクロ経済学 II → マクロ経済学 III 社会経済学 I → 社会経済学 II</p> <p>3年次から： 経済学史 I → 経済学史 II 社会思想</p>							
コース基本科目	<p>16単位以上選択必修：第3から第8セメスターのあいだに履修</p> <p>2年次から： 日本経済史 I → 日本経済史 II ヨーロッパ経済論 欧米経済史 日本経済論 I → 日本経済論 II 国際経済学 世界経済論 開発経済論 アジア経済概論 中国経済論 Economic Issues in English I → Economic Issues in English II</p> <p>3年次から： 経済地理 I → 経済地理 II 国際金融論 環境経済論 アメリカ経済論 Business Economics Japanese Economy</p>							
その他の専門科目 (特にコースに関連する科目のみ)	<p>卒業には専門教育科目から80単位以上の修得が必要である。</p> <p>1年次から： 経済学部生のための経営学入門 経済学部生のための法学入門 初級簿記</p> <p>2年次から： 財政学 (財政と制度) → 財政学 (経費と租税) 金融論 I → 金融論 II 経済政策論 → 経済政策論応用 労働経済学 社会政策 農業経済論 中級簿記 マーケティング概論 経営情報概論 Practical Business English I → Practical Business English II 経済と憲法</p> <p>3年次から： 都市経済論 I → 都市経済論 II 経営管理論 I → 経営管理論 II 経済成長論 企業経済論 交通概論 海外フィールドスタディ 海外インターンシップ 行動経済学 ファイナンス論 資源・エネルギー経済論 経済史特別講義</p>							
外国語科目	<p>日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。</p> <p>外国語 (必修) → 外国語 (必修) いずれか1種類の外国語4単位必修</p>							
共通教育科目	<p>幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。</p> <p>キャリア開発A → キャリア開発B → キャリアデザイン演習A → キャリアデザイン演習B → キャリア演習A → キャリア演習B</p> <p>卒業には共通教育科目から、いずれか1種類の外国語4単位を含む30単位以上の修得が必要である。</p> <p>ビジネスリテラシー</p>							
目標修得単位数	18~24	18~24	18~24	18~24	18~24	18~24	8~24	8~24
学修目標 (学部共通)	<p>1年次の学修目標 (学部共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済学に関する基礎的知識を修得する。 読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる力、グループワーク力、プレゼンテーション力といった汎用的技能を身に付けるトレーニングをする。 外国語能力を伸ばす。 <p>2年次の学修目標 (学部共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済学に関する専門的知識を拡充させる。 実践的・能動的な取り組みを通して、汎用的技能のさらなる向上に努める。さらに、課題を見出す力をつける。 キャリアに関する意識を高める。 <p>3年次の学修目標 (学部共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業研究を意欲した専攻分野の決定と研究に必要な情報を獲得する。 実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決能力を高める。 キャリアに関する意識を具体化し行動する。 演習IIの学修を通じて、「実学としての経済学」を修得する。 <p>4年次の学修目標 (学部共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業研究を推進させて、卒業論文を完成させる。 社会人としての心得を修得する。 進路に関連する専門知識を拡充する。 							
学修目標 (コース別)	<p>2年次の学修目標 (国際経済コース)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易・海外投資・為替・対外政策についての理論としくみを理解する。 国際的な時事問題にアンテナをはり、海外事情の学修にも取り組む。 英語による専門科目を学修する。 秋学期に協定校に留学し、海外での生活体験を得ながら、語学力の向上を図る。 <p>3年次の学修目標 (国際経済コース)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際経済分野について興味のあるテーマや課題を選定し調査・研究を行う。 引き続き、経済理論と英語による専門科目の学修を進めながら、グローバル経済事情への関心を広げていく。 海外インターンシップや海外フィールドスタディ研修などにも参加し、実際の現場の雰囲気を感じていく。 <p>4年次の学修目標 (国際経済コース)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した国際経済分野に関するテーマについて研究発表を行い、卒業レポート・卒業論文を執筆する。 グローバルな問題や課題について幅広い理解と見識を持ち、その対応策や解決手法について、自身の考えを深め見いだしていく。 							

経済学部経済学科教育課程

経済学部経済学科教育課程